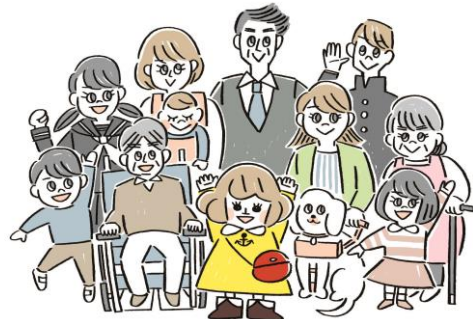


令和6年度

歳末助けあい愛の持ち寄り運動公募配分 手引き

宝塚市民の皆さまにご協力をいただき
歳末助けあい愛の持ち寄り運動を財源に、
誰もが安心して年末年始を過ごせる
宝塚のまちをめざす、地域活動を応援します



1 助成対象となる団体

宝塚市内に活動拠点を有する非営利活動団体

※社会福祉法人等が行う地域福祉活動についても、本来事業と明確に区分される活動は対象となります。

※兵庫県共同募金会配分規定・配分実施細則に準じ、営利を目的とした活動、政治的活動、宗教的活動、特定の人物に対する支持を目的とした活動は、対象外です。

2 助成対象となる事業と金額

※応募内容や件数により、不採用や助成額の減額もあります。

1 事業(活動)あたり100,000円以内

- 安心、安全に暮らし続けられる地域社会づくりを目的とした新規活動の立ち上げ
- 既存の制度やサービスでは解決できない課題に取り組む先駆的活動
- 社会的、継続的な活動が必要だが、公的な制度や既存の助成制度の対象とならない活動
- その他、宝塚市共同募金委員会が必要と認めた活動

3 助成対象となる事業(活動)の実施期間

令和6年10月1日～令和7年3月31日に実施する事業(活動)

または、この期間に立ち上げる事業(活動)

4 募集期間

令和6年7月1日(月)～令和6年9月6日(金)(必着)

5 助成対象となる経費とならない経費

○ 助成対象となる事業経費	
交通費	活動に要する電車・バス運賃、ガソリン代の実費
謝金	講師・一時保育・手話・要約筆記等の謝金等
消耗品費	コピー用紙、文具、会食等の原材料費、茶菓代等
印刷費	チラシ、資料印刷、コピー代等
通信費	電話代、郵便代等
使用料	会場代、機器のレンタル代等
備品費	恒久的に使用するもの
保険料	ボランティア保険、行事保険等
手数料	銀行振り込み手数料等
修繕費	備品・機材の修理、活動拠点の修繕等
参加費	研修参加費等
その他	上記以外のもので、配分委員会で特に必要と認められたもの

× 助成対象とならない事業経費	
・グループ、団体の会員が講師となる場合の謝金	
・新規立ち上げ活動の場合、通常のグループ、団体の活動に関する経費	
・事業(活動)に関する人件費	
・ボランティア、スタッフの打合せ会、反省会等のお弁当代、お茶代等の飲食代	
・アルコールやタバコなどの嗜好品代	
・イベント等の景品や参加賞としての金券(図書カード、クオカード含む)や商品券等、広告代	
・公的な助成の仕組みがあるもの(防犯カメラ整備費用 等)	

本助成金は、皆様から協力いただいた「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」を財源にしています。貴重な募金を有効活用するために、事業実施にあたっては、会費、参加費、寄付金、売上金などの自己財源の確保を十分に検討された上で申請下さい。

特に、飲食に関する経費については、自己財源を充当するようご検討下さい。

6 応募の方法

下記書類を社協地区センター、ボランティアプラザ、共同募金委員会事務局にご持参下さい。
Eメール、郵送でも応募できますが、その場合は事前に共同募金委員会事務局にご相談下さい。

申込書(様式1)

※自治会・コミュニティなどで複数の部がある場合の代表者は部会長ではなく、組織長として下さい。

グループ紹介シート(様式2)

会則(自治会、コミュニティの場合は不要)

振込口座の通帳コピー(表紙及び1ページ目)

見積書・カタログ(※備品購入の場合は必ず添付下さい。)

7 助成の審査と決定

書類選考とプレゼンテーション(10分程度)を実施します。その後、宝塚市共同募金委員会の審査を経て、助成団体及び助成金額を決定します。

審査の結果については令和6年10月上旬に文書で通知し、指定の口座に振り込みます。

【プレゼンテーション審査】

日時:令和6年10月2日(水)

場所:宝塚市総合福祉センター 201・202会議室

※プレゼンテーションの内容、時間等詳細については申込締切後、各団体へ連絡いたします。

※手話通訳者、要約筆記者は宝塚市共同募金委員会事務局で手配いたします

8 助成決定後について

(1)実施報告 (最終締切日:令和7年4月7日)

活動終了後速やかに下記書類をお近くの各社協地区センター、ボランティアプラザ、宝塚市共同募金委員会事務局へご持参下さい。Eメール、郵送による報告は受付できません。

報告書(※報告書は助成決定時に送付します)

活動時の写真2枚(活動報告会の事例紹介に使用します。歳末募金チラシに使用することがあります)

活動に伴う領収書のコピー

「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」の助成を受け、実施しているとPRしているチラシ、会報

本助成の財源となる「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」のPRに必ずご協力下さい

(2)配分金の返還

次の事項に該当する場合は、配分決定を取り消し、配分金の全部又は一部を返還していただきます。
速やかに事務局にお申し出下さい。

①申込事業内容が変更になった場合

②申込事業の遂行が困難になった場合

③申込事業を中止した場合

④助成金に余剰が生じた場合

9 お問い合わせ、ご相談の窓口

事業(活動)に関する相談、応募の手続き、受付は下記の各社協地区センター、ボランティアプラザ、宝塚市共同募金委員会でおこなっています。お気軽にお問い合わせ下さい。

地区	地区センター	電話番号
1地区	おばやし地区センター	090-2640-3690
2地区	逆瀬台地区センター	090-3262-0570
3地区	ごてんやま地区センター	080-8536-0681
4地区	安倉地区センター	0797-86-5003
5地区	長尾地区センター	090-3055-2837
6地区	中山台地区センター	090-5360-4894
7地区	西谷地区センター	090-1895-2702
全市	宝塚ボランティアプラザ zukavo (旧・ボランティア活動センター)	0797-86-5001
	共同募金委員会事務局 (社会福祉協議会内)	0797-86-5000

その他

令和5年度に公募配分を利用して実施された地域福祉活動は「令和5年度歳末助けあい愛の持ち寄り運動公募配分 受配団体活動紹介集」に掲載しています。



兵庫県共同募金会マスコット
あかはねちゃん

令和6年度 歳末助けあい愛の持ち寄り運動公募配分 申込書 (様式1)

令和 年 月 日

宝塚市共同募金委員会 委員長 様

下記のとおり、「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」公募配分の申し込みをいたします。

申し込み事業名称		申込額	円
グループ・団体名	ふりがな		
代表者名・所在地 (※部会長等ではなく、 <u>組織長を代表として下さい。</u>)	ふりがな (名前) 印	〒 住所 (電話)	
グループ・団体の種類	<input type="checkbox"/> 自治会 <input type="checkbox"/> 民生児童委員協議会 <input type="checkbox"/> まちづくり協議会 <input type="checkbox"/> 婦人会 <input type="checkbox"/> 老人会 <input type="checkbox"/> 子供会 <input type="checkbox"/> ボランティアグループ <input type="checkbox"/> 子育て支援グループ <input type="checkbox"/> PTA <input type="checkbox"/> ふれあいいいききサロン <input type="checkbox"/> 当事者団体 <input type="checkbox"/> NPO 団体 <input type="checkbox"/> その他()		
この配分に関する連絡先 (代表者と異なる場合のみ記載)	ふりがな (名前)	〒 住所 (電話)	

【実施計画書】

<ul style="list-style-type: none"> ・実施事業の目的 ・実施時期 ・事業の具体的内容 			
事業実施による利用者数	人		
実施予定の申し込み事業によって期待できる効果(成果)、地域への影響			
今年度他の団体への助成申し込みの有無	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	有の場合	団体名() 事業名称()
「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」への募金協力について		配分事業のPR方法について	
<input type="checkbox"/> 12月の街頭募金への参加 <input type="checkbox"/> グループ・団体の事業の中で募金活動を実施 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 事業のチラシに「助成事業」であることを記入 <input type="checkbox"/> 事業実施時に「助成事業」であることを告知 <input type="checkbox"/> その他()	

予算書

【収入】

項目	予算額	内容・内訳
配分金		歳末助けあい愛の持ち寄り運動
自己資金額		
参加費		
他の補助金		名称 ()
収入合計		

【支出】

費目	予算額	内公募配分助成金 充当額	内訳 <u>※特に助成金充当額に対する 内訳がわかるようご記入下さい。</u>
交通費			
謝金			
消耗品費			
印刷費			
通信費			
使用料			
備品費			
保険料			
手数料			
参加費			
その他			
支出合計			

提出書類	<input type="checkbox"/> 申込書（様式1：本用紙） <input type="checkbox"/> グループ紹介シート（様式2） <input type="checkbox"/> 会則（自治会、コミュニティの場合は不要） <input type="checkbox"/> 振込口座の通帳コピー（表紙及び1ページ目） <input type="checkbox"/> 見積書・カタログ（※備品購入の場合は必ず添付下さい。）
------	---

申込締切：令和6年9月6日（金）

令和6年度 歳末助けあい愛の持ち寄り運動公募配分 申込書 (様式1)

年月日

宝塚市共同募金委員会 委員

申し込み名称は助成金をどのように活用した
かがわかるよう具体的にご記入下さい。

記入見本

下記のとおり、「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」公募配分の申し込みをいたします。

申し込み事業名称	見守り・支えあい体制作り事業	申込額	100,000円
グループ・団体名	ふりがな えいびーしー じちかい ABC自治会		
代表者名・所在地 (※部会長等ではなく、組織 長を代表として下さい。)	ふりがな (名前) 宝 すみれ	〒665-**** 宝塚市++町*-** (電話) 0797-86-****	
グループ・団体の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会 <input type="checkbox"/> 民生児童委員協議会 <input type="checkbox"/> まちづくり協議会 <input type="checkbox"/> 婦人会 <input type="checkbox"/> 老人会 <input type="checkbox"/> 子供会 <input type="checkbox"/> ボランティアグループ <input type="checkbox"/> 子育て支援グループ <input type="checkbox"/> PTA <input type="checkbox"/> ふれあいいいききサロン <input type="checkbox"/> 当事者団体 <input type="checkbox"/> NPO 団体 <input type="checkbox"/> その他()		
この配分に関する連絡先 (代表者と異なる場合の み記載)	ふりがな あくら たらう (名前) 安倉 太郎	〒 665-**** (住所) 宝塚市* *町+-++ (電話) 0797-86-0000	

【実施計画書】

<p>・実施事業の目的</p> <p>どのような取り組みを行うか、配分金は何のための費用に充てたいかを具体的にご記入下さい。</p>	<p>私たちの自治会は高齢化率が高く、一人暮らしの方も年々増えています。地域での暮らしを支えるために民生委員や地域包括支援センター、社協地区センターなどの協力を得て日頃の見守り体制を整えていきたいと考えています。</p> <p>内容としては、定期的(月1回程度)に話し合いの場を重ねるとともに、学習会やワークショップを行い支えあいマップを作り、啓発も兼ねてニーズの把握と協力を呼びかけます。その後、アンケートを行い、ニーズ把握と地域でできる支援について検討を行い、来年度に具体的な取り組みにつなげていきたいと考えています。そのための講師謝金や必要な消耗品の購入に配分金を充たしたいと考えております。</p> <p>・地域ささえあい会議〇年11月～ 毎月第4金曜日予定</p>		
事業実施による利用者数	年間 約 600 人		
実施予定の申し込み事業 によって期待できる効果 (成果)、地域への影響	一人暮らしであっても、安心して地域で住み続けることができる。 また、地域で支えるということを住民に啓発し、日頃からのさりげない見守り協力体制を作ることができる。		
今年度他の団体への助成 申し込みの有無	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	有の場合	団体名() 事業名称()
「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」への募金協力について	配分事業のPR方法について		
<input checked="" type="checkbox"/> 12月の街頭募金への参加 <input checked="" type="checkbox"/> グループ・団体の事業の中で募金活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他(自治会での個別募金)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のチラシに「助成事業」であることを記入 <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施時に「助成事業」であることを告知 <input checked="" type="checkbox"/> その他(自治会広報に掲載)		

予算書

【収入】

項目	予算額	内容・内訳
配分金	100,000	歳末助けあい愛の持ち寄り運動
自己資金額	25,000	自治会より
参加費		
他の補助金		名称 ()
収入合計	125,000	

【支出】

費目	予算額	内公募配分助成金 充当額	内訳 <u>※特に助成金充当額に対する 内訳がわかるようご記入下さい。</u>
交通費			※電車・バス運賃・ガソリン代
謝金	60,000	60,000	学習会・ワークショップ講師謝金(2回分) (助成金充当分)
消耗品費	50,000	30,000	用紙、模造紙、ふせん、学習会用お茶代、 プリンターインク代 (助成金充当分) ※紙代、文具等
印刷費	10,000	10,000	チラシ、資料コピー・印刷代 ※チラシ、資料印刷、コピー代など
通信費			※郵送料等
使用料	5,000		学習会会場使用料 ※会場代、機器のレンタル代
備品費			※単価 10,000 円以上のもの
保険料			※ボランティア保険、行事保険
手数料			※銀行振り込み手数料
参加費			※研修参加費等。ただし、人件費は対象外
その他			※上記以外の項目
支出合計	125,000	100,000	

提出書類	<input checked="" type="checkbox"/> 申込書（様式 1：本用紙） <input checked="" type="checkbox"/> グループ紹介シート（様式 2） <input type="checkbox"/> 会則（自治会、コミュニティの場合は不要） <input checked="" type="checkbox"/> 振込口座の通帳コピー（表紙及び 1 ページ目） <input type="checkbox"/> 見積書・カタログ（※備品購入の場合は必ず添付下さい。）
------	--

申込締切：令和 6 年 9 月 6 日（金）

令和6年度歳末助けあい愛の持ち寄り運動公募配分 活動グループ紹介シート（様式2）

令和 年 月 日

※ グループ・団体で通常行っている活動についてご記入下さい。（新規にグループ・団体を立ち上げて活動する場合は予定している内容をご記入下さい。）

グループ・団体名	
活動（開催）場所	
活動（開催）日時	
活動の目的	
活動開始日	
活動規模（年間予算）	年間予算： 円
会費（自治会費や参加費など）	会費：
財源	財源：
スタッフについて	人数： 人（男 人・女 人）
	年齢層： <input type="checkbox"/> 10代以下 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
活動を利用する方もしくは支援対象者	人数： 人
	利用者・支援対象者の層：
活動内容 (工夫している点や課題もお書き下さい。)	
活動のPR方法	

記入見本

令和6年度歳末助けあい愛の持ち寄り運動公募配分 活動グループ紹介シート（様式2）

令和* *年*月*日

※ グループ・団体が通常行っている活動についてご記入下さい。（新規にグループ・団体を立ち上げて活動する場合は予定している内容をご記入下さい）

グループ・団体名	ABC 自治会
活動（開催）場所	ABC 自治会館
活動（開催）日時	サロン活動：毎週水曜日 13:30～15:30 地域防犯パトロール：子ども達の登下校時
活動の目的	サロンは、みんなで楽しくおしゃべりとお茶を楽しんで、交流の輪を広げるため。顔なじみになって、お互いに見守り合いをするため。 防犯パトロールは、地域全体で子ども達を見守っていくため。
活動開始日	* *年*月*日
活動規模（年間予算）	年間予算： 100,000 円（福祉部）
会費（自治会費や参加費など）	会費：サロン参加費：100円
財源	財源：自治会費、補助金、サロン参加費
スタッフについて	人数： 20 人（男 8人・女12人） 年齢層：□10代以下 □20代 □30代 □40代 ■50代 ■60代 ■70代以上
活動を利用する方もしくは支援対象者	人数： 320 人 利用者・支援対象者の層：自治会員全員です。 高齢者の世帯が全体の1/3ほどになります。
活動内容 （工夫している点や課題もお書き下さい。）	日常的には、地域防犯パトロールをしています。 サロンは5月から立ち上げましたが、一人暮らしの方も多く、みなさんに楽しみにしておられます。 高齢化率が高く、ボランティアとして関わる人数が限られており、なかなか新しくボランティアとして関わってくれる人を見つける事が出来ていません。
活動のPR方法	自治会の広報誌で活動をPRしています。

令和6年度 歳末助けあい愛の持ち寄り運動公募配分 報告書 (様式3)

令和 年 月 日

宝塚市共同募金委員会 委員長 様

下記のとおり、「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」公募配分の報告をいたします。

配分事業名称		配分額	円
グループ・団体名			
所在地	〒 宝塚市 (電話)	(FAX)	
代表者名	ふりがな		

公募配分報告書

配分事業の実施報告 (実施日・参加人数・内容 など)			
配分事業による効果(成 果)、地域への影響			
「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」への募金協力について		配分事業のPR方法について	
<input type="checkbox"/> 12月の街頭募金への参加 <input type="checkbox"/> グループ・団体の事業の中で募金活動を実施 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 事業のチラシに「助成事業」であることを記入 <input type="checkbox"/> 事業実施時に「助成事業」であることを告知 <input type="checkbox"/> その他()	
配分事業の実施報告を中央共同募金会がインターネット上に開設している赤い羽根データベース「はねっと」 (http://hanett.akaihane.or.jp) に掲載いたします。募金の寄付者への「ありがとうメッセージ」をご記入ください。			

決算書

【収入】

項目	予算額	決算額	内容・内訳
配分金			歳末助けあい愛の持ち寄り運動
自己資金額			
参加費			
他の補助金			名称()
他の補助金			名称()
収入合計			

【支出】

費目	予算額	決算額	内公募配分助成金 充当額	内訳 <u>※特に助成金充当額に対する 内訳がわかるようご記入下さい。</u>
交通費				
謝金				
消耗品費				
印刷費				
通信費				
使用料				
備品費				
保険料				
手数料				
参加費				
その他				
支出合計				
配分金に余剰金が生じた場合の返金額				/

※ 支出合計と収入合計の金額は同じ金額になるようにして下さい。

提出締め切り: 事業終了後速やかに(※最終締め切り 令和7年4月7日)

添付書類	<input type="checkbox"/> 事業の様子を記録した写真2点 <input type="checkbox"/> 配分事業にかかった経費すべての領収書のコピー <input type="checkbox"/> 配分事業であることを住民にPRしたチラシ、広報紙等
------	---

令和6年度 歳末助けあい愛の持ち寄り運動公募配分 報告書 (様式3)

記入見本

令和**年4月**日

宝塚市共同募金委員会 委員長 様

下記のとおり、「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」公募配分の報告をいたします。

配分事業名称	見守り・支えあい体制づくり事業	配分額	100,000円
グループ・団体名	ふりがな えいびーしー じちかい ABC自治会		
所在地	〒665-**** 宝塚市 ○○町**-** (電話) 0797-86-**** (FAX) 0797-86-++++		
代表者名	ふりがな たから すみれ 宝 すみれ		

具体的に事業内容を記入ください。
実施日や参加人数なども記入してください。

公募配分報告書

配分事業の実施報告 (実施日・参加人数・内容など)	<p>民生委員、老人会、子ども会、地域包括支援センター、社協地区センターの協力を得て月1回の定期的な会合を設け、地域での見守り体制づくりについて地域でどのようなことができるかということについて「地域ささえあい会議」を立ち上げ話合いました。</p> <p>また、地域にどのような方が住まわれているかを把握し、今後の支援を行っていくために講師の先生を招いて学習会や支えあいマップづくりワークショップを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ささえあい会議:○年11月～○年3月 計5回 参加者:延78名 ・学習会:○年○月○日 参加者:38名 ・支えあいマップづくりワークショップ:○年○月○日 参加者41名 		
配分事業による効果(成果)、地域への影響	<p>定期的な会合を設けたことで、普段外で会っても挨拶を交わすなど、住民同士の輪が広がった。また、マップづくりを行ったことで地域にどのような方が住まわれているかを知ることができた。次年度は地域でどのような支援が必要か、また自分たちでできるかということについて話し合いを重ねていきたい。</p>		
「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」への募金協力について	配分事業のPR方法について		
<input checked="" type="checkbox"/> 12月の街頭募金への参加 <input type="checkbox"/> グループ・団体の事業の中で募金活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他(自治会での戸別募金)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のチラシに「助成事業」であることを記入 <input type="checkbox"/> 事業実施時に「助成事業」であることを告知 <input checked="" type="checkbox"/> その他(自治会の広報紙で配分を受けた旨を掲載)		
<p>配分事業の実施報告を中央共同募金会がインターネット上に開設している赤い羽根データベース「はねっと」(http://hanett.akaihane.or.jp)に掲載いたします。募金の寄付者への「ありがとうメッセージ」をご記入ください。</p>			
<p>自治会では高齢化率が高く、一人暮らしの方も増えていたのでその方々に対する支援をどうしたらいいのかということが課題になっていました。今回助成金をいただいたおかげで、定期的な会合や学習の機会を設けることができ、これからやるべきことが少しずつ見えてきたように思います。ありがとうございました。</p>			

決算書

【収入】

項目	予算額	決算額	内容・内訳
配分金	100,000	100,000	歳末助けあい愛の持ち寄り運動
自己資金額	25,000	8,730	自治会より
参加費			
他の補助金			名称()
他の補助金			名称()
収入合計	125,000	108,730	

予算は申込書と同じ額をご記入下さい。

【支出】

費目	予算額	決算額	内公募配分助成金 充当額	内訳 ※特に配分金充当額に対する 内訳がわかるようご記入下さい。
交通費				
謝金	60,000	60,000	60,000	学習会・ワークショップ講師謝金(2回分)(助成金充当分)
消耗品費	50,000	31,580	30,000	用紙、模造紙、ふせん等事務用品 25,160円 会議用お茶代 6,420円 (内、30,000円助成金充当) ※紙代、文具、お茶の葉等
印刷費	10,000	13,650	10,000	ちらし、ワークショップ資料印刷代、 地図拡大コピー代 ※チラシ、資料印刷、コピー代
通信費				※郵便代
使用料	5,000	3,500		自治会館使用料@500×7回
備品費				※単価 10,000 円以上の物
保険料				※ボランティア保険、行事保険
手数料				※銀行振り込み手数料など
参加費				※研修参加費等。ただし、人件費は対象外
その他				※上記以外の項目
支出合計	125,000	108,730	100,000	

予算は申込書と同じ額をご記入下さい。

配分写真は、次年度の公募配分募集時に昨年度の活動紹介として掲載させていただきます。また、ホームページや募金チラシなどに掲載させていただく場合があります。

提出締め切り: 事業報告書と一緒に(※最終締め切り 令和7年4月7日)

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の様子を記録した写真2点 <input checked="" type="checkbox"/> 配分事業にかかった経費すべての領収書のコピー <input checked="" type="checkbox"/> 配分事業であることを住民にPRしたチラシ、広報紙等
------	--

令和5年度 歳末助けあい愛の持ち寄り運動公募配分 受配団体活動紹介集

宝塚市共同募金委員会では、住民のみなさんと共に「じぶんのまちを良くするしくみ」を合言葉に10月には「赤い羽根共同募金運動」、12月には「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」を実施し、たくさんの募金が集まりました。

ここでは、「歳末助けあい愛の持ち寄り運動(歳末募金)」を財源として令和5年度に住民のみなさんが企画、参画された地域福祉活動をご紹介します。



兵庫県共同募金会
マスコット
あかはねちゃん

令和5年度 歳末助けあい愛の持ち寄り運動における公募配分活動一覧

	グループ名	申込事業の名称	配分額(円)
1	西谷地区まちづくり協議会 文化・研修部会	こども・親の居場所づくり事業	(※)180,000
2	宝塚市老人クラブ連合会	健康づくり・介護予防支援事業 「モルック大会」	80,000
3	アップル子ども会	HAPPY ハロウィン事業	76,000
4	光ガ丘福祉活動委員会	ふれあいサロン実施	50,000
5	トーキョーコーヒー未成デイジー	不登校居場所づくり事業	50,000

※令和5年度まで実施していたテーマ型助成(上限額 200,000 円)を利用

(裏面に続く)

令和5年度の助成活用例と Q&A

「助成はどんなことに使えるのかな」「プレゼンテーションって？」
そんなときは、宝塚市共同募金委員会に気軽にご相談ください！

登校しない子どもとその親の居場所づくりに

トーキョーコーヒー
未成デイジー



近年増えている、登校していない子どもとその親のための居場所をつくりました。

子ども同士が「自分と気の合う人がいる!」とつながることができ、保護者たちも楽しみながら悩みや意見、情報を共有できる場所ができました。助成金をチラシ印刷などに活用させていただいたことで、近隣の小中学校をはじめ、多くの方に居場所のPRをすることができました。

ありがとうございました！

こども・大人の交流に

西谷地区まちづくり協議会
文化・研修部会



西谷地域のこども、おとなの交流と新しい地域拠点のお披露目を目的に、モノ作り体験や音楽の生演奏、飲食を伴うイベントを実施しました。

今回の事業をきっかけに、「西谷をどのような地域にしたいか」という考えの場を作ることができ、今後も子育て世代を含め、全世帯に向けて交流を持つ機会を得られました。

ありがとうございました！



どんな取り組みが助成の対象になるの？

「みんなで安心、安全に暮らし続けられるまちづくり」という助成の目的につながるような活動で、要件を満たすものであれば、申し込みできます。用途が助成の対象になるかどうかわかりにくい場合は、一度ご相談ください。



プレゼンテーションはどんな形式なの？

宝塚市共同募金委員会の委員・事務局8名程度に対し、団体の日頃の活動や申込事業の内容、配分が必要な理由について、10分間（時間厳守で）プレゼンテーションしていただきます。発表形式は、口頭での説明やプリント、パワーポイントの使用など、問いません。